

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二五三五六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

# 東海旅客鉄道会社の「社員研修」で労働者を「物」扱いするゲームが行われる

## 5・17三里塚へ大結集し反撃しよう

「新会社」移行後一カ月たった五月一日、東海旅客鉄道会社の「社員研修」が行われていた社員研修センター三島分所において、労働者を『物』扱いる「コミュニケーションゲーム」なるとんでもない内容のゲームが行われていたことが朝日新聞で明らかとなり、各界の批判を浴びている。まさに「新会社」が、営利のみを優先し、職場で働く労働者を『物』としか見ていないということが具体的に表されたものだ。

### 労働者を『物』扱い

この「研修」は、四月一四日から五月八日までの日程で、東海旅客鉄道会社新幹線運行本部運輸課の二二名が参加して行われていた。

問題の「コミュニケーションゲーム」とは、参加者を『人間』と『物』の役に分け、『物』は『人間』に対して礼儀正しくする。しかし、『物』は感情を持っていないから『人間』からは無視され、『人間』は『物』が口をきいたり、あるいは違う意見を主張した場合は、「静かにしろ」とか「よけいなことを言うな」「黙っておれ」と注意し、冷淡に扱ってかまわない。さらに、『物』は、『人間』の知的レベルに達していないから『人間』は『物』に注意を払う必要はない。『物』が二十秒以上話して話したらやめさせてもいい、などとなっていた。

### 人間性を無視したゲーム

今回の「コミュニケーションゲーム」こそ「新会社」が、労働者をいかに扱おうとするものかをはっきりと示したものだ。つまり、当局には文句を言うな、命令には絶対服従しろ、という状況を創ることが狙いであり、会社にとって都合な労働者を差別・選別することがあからさまに表されている。

また、労働者がおたがいの人間性を尊

重し、労働者同士が団結することを真正面から否定し、破壊しようとするものである。

『研修』に参加した労働者も、あまりにも非人間的な「ゲーム」に「仲間を物扱いできるか」と抗議し中止に迫らんでいる。当然のことである。

### 5・17三里塚で反撃を

このように、労働者を『物』扱いし、分断し、さらに、動労千葉や国労を解体するために強制配転攻撃をかけてくる会社当局に対し、われわれは、三里塚を闘う国鉄労働運動の真価をかけて勝利するまでたたかいぬくものである。

とりわけ、5・17三里塚現地闘争への大結集こそ権力・当局・動労革マルに大打撃を与える重要なたたかいだ。

5・17三里塚に、動労千葉を先頭とする動労総連合の大部隊で登場し、反撃に起とうではないか。

### JR社員はそれを我慢できない

**研修といふ名の「物」扱い**

分割・民営化されて一カ月たったJR東海会社の社員研修の「人間」役に無視要求と抗議でゲーム中止

「人間」は「物」が口をきいたり、あるいは違う意見を主張した場合は、「静かにしろ」とか「よけいなことを言うな」「黙っておれ」と注意し、冷淡に扱ってかまわない。さらに、『物』は、『人間』の知的レベルに達していないから『人間』は『物』に注意を払う必要はない。『物』が二十秒以上話して話したらやめさせてもいい、などとなっていた。

これが分割・民営化の正体だ。(5/2付朝日)